

医師コース

【目的】

中国四国ブロックの中でも、主に四国ブロックの造血幹細胞移植医療体制の底上げを図るために、造血幹細胞移植を安全に施行できる医師を育成する。

1 一般目標：G I O (general instructional objective)

(1) 造血幹細胞移植に関する専門的医学知識と技能を有し、造血幹細胞移植が適正に実施できるようになる。

(2) ドナーの安全性をも考慮し、造血幹細胞採取をおこなえる。

2 指導スタッフ

主任部長

名和由一郎（血液専門医、造血細胞移植認定医、輸血認定医）

指導医

中瀬浩一（血液専門医、造血細胞移植認定医）、板楠今日子（血液専門医、移植認定医、輸血認定医）、橋田里妙（血液専門医、造血細胞移植認定医）

指導者

血液内科病棟

看護長 宮内珠美

行動目標：S B O s (Specific Behavioral Objectives)

- (1) 造血幹細胞移植の適応を判断できる。
- (2) 適切なインフォームド・コンセントを実施できる。
- (3) ドナーの適格性を判断できる。
- (4) 造血幹細胞移植のコーディネートができる。
- (5) 造血幹細胞移植をうける患者の評価をおこない、準備をすることができる。
- (6) 前処置治療を実施できる。3
- (7) 安全に造血幹細胞採取（骨髄採取・末梢血幹細胞採取）ができる。
- (8) 造血幹細胞の凍結ができる。
- (9) 造血幹細胞の輸注ができる。
- (10) 免疫抑制剤を適切に使用することができる。
- (11) GVHD の管理ができる。
- (12) 感染症の管理ができる。
- (13) 移植特有の合併症の管理ができる。
- (14) 長期フォローアップにより、晩期合併症を管理できる。
- (15) 移植チームを結成し、運営できる。
- (16) 移植データベース TRUMP2 の入力をすることができる。
- (17) 造血幹細胞移植に関する最新の情報をアップデートできる。

4 実際の業務 方略1：LS-1 (Learning Strategies) (On-the-job training)

- ① 新規入院患者の担当医となり、指導医とともに診療をおこなう。
- ② 診察、カルテ記載を行う。治療方針を他の血液内科医師とディスカッションする。
- ③ 期間中に施行される骨髄検査、末梢挿入式中心静脈カテーテル挿入、腰椎穿刺、骨髄採取、末梢血幹細胞採取に参加する。

5 実際の業務 方略2：LS-2 (Learning Strategies) (勉強会・カンファレンスなど)

- ① 毎週水・金曜日のショートカンファレンスで入院患者のプレゼンテーションを行う。
- ② 毎週月曜日の血液内科カンファレンスで新入院のプレゼンテーションを行う。
- ③ 毎週木曜日の血液内科総回診には受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ④ 月2回火曜日の移植カンファレンス（多職種）で受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ⑤ 期間中英文論文を読み、抄読会で発表する。
- ⑥ レクチャーにて造血幹細胞移植に関する知識を習得する。

6 EV：評価 (Evaluation)

病院全体の評価方法に準じる。

7 研修場所

主として病棟

8 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	病棟回診	病棟回診	病棟回診	血液内科主任部長回診	骨髄採取
午後	血液内科カンファレンス		ショートカンファレンス		ショートカンファレンス
夕方		移植カンファレンス	内科カンファレンス		